

～病院見学会ではココを見よう～



2階東病棟 2023年入職  
O・Aさん 摂南大学卒業

リアルな職場を知るために参加

私は当院で看護実習を受ける予定だったのですが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で受けられなかったため、現場の雰囲気や、看護師の方々が患者さんに対してどのように関わっておられるのかを知りたくて病院見学会に参加しました。当日はベテラン看護師さんが各病棟を案内してくださり、その後に新人看護師さんとの交流会が開かれました。その際に、コロナ禍で実習時間が少なくなった不安などを話したところ、その方も同じような経験をされていて、私たちと近い目線で看護部の教育やサポートについて話してくださり、安心感につながりました。

看護師間のフラットな関係を実感

病院見学会で印象に残っているのは、看護師同士の距離感が近いことです。ベテラン看護師さんと新人看護師さんもいい意味でフランクな雰囲気、風通しが良い職場だと感じました。こうした環境と、幅広い医療を展開していること、そして充実した教育体制に魅力を感じて入職を希望しました。病院見学会は病院や現場を知る良い機会です。まずは、自分がどんな病院で働きたいのかをじっくり考えたうえで、当院がマッチするようならぜひ参加してください！



病院見学会のご案内はLINEで実施しております。ぜひお友達登録下さい♪

未来の当院を担う看護師育成のため、最終学年の方を対象に奨学金制度を設けております！  
資格取得後に病院に勤務すると返済免除されます♪



国家公務員共済組合連合会  
枚方公済病院

大阪方面 「北新地」駅より  
JR東西線学研都市線  
「長尾」駅まで約 **35分**

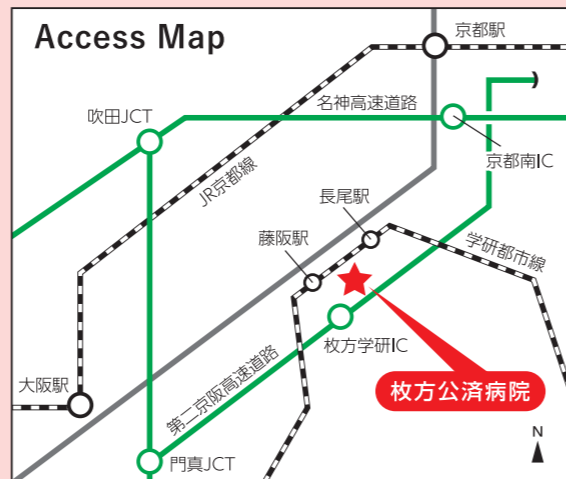
京都方面 「京都」駅より 近鉄「丹波橋」駅乗換 京阪「丹波橋」駅経由  
京阪本線  
「枚方市」駅まで約 **34分**  
※乗り換え時間5分を含む。

JR学研都市線 長尾駅下車徒歩10分  
または 京阪バス 枚方市駅行に乗車、  
枚方公済病院下車

京阪電車 枚方市駅下車  
京阪バス 長尾駅行に乗車、  
枚方公済病院下車



〒573-0153 大阪府枚方市藤阪東町1丁目2番1号  
TEL:072-858-8233(代表) <https://hirakoh.kkr.or.jp/>



# 「ほほえみ」



～看護学生 就活応援広報誌～



看護部長メッセージ

枚方公済病院 看護部長の畑です。  
『ほほえみ』は就活生の皆さんを応援すべく  
この度発刊させて頂く事になりました。  
当院で頑張っている1年目の看護師の声から  
ぜひこんな看護師になりたい、  
こんな病院で働きたいと思って頂ければ嬉しいです。



## ドキドキの1年目！ ～ふくろう研修体験談～

3階西病棟 2023年入職 A・Aさん 京都橘大学卒業



### Q はじめて夜勤を経験するまでの心境は？

A 新人看護師にとって、夜勤は緊張する業務のひとつです。日勤と比べて受け持つ患者さんが増えるので、「しっかりと患者さんの状態観察ができるだろうか」、「急変された場合に適切な対応ができるだろうか」など、心配事がたくさんありました。しかし、事前に先輩方がひとつひとつ丁寧に指導していただき、少しずつ不安は和らぎました。そうしたなかで、患者さんの立場になって夜勤を体験する「ふくろう研修」もとても役立ちました。

### Q 「ふくろう研修」を受けた印象は？

A 体験を通じて夜勤業務の具体的なイメージをもつことと、患者さんの気持ちを知る機会になることが「ふくろう研修」の特長です。実際に泊ってみると、消灯になると心細くなり、「治療や退院後の生活が不安になるだろうな」と肌で感じました。私が勤務する病棟は手術を受ける患者さんが多いので、特にそうだと思います。また、ちょっとした物音にも敏感になると気づいたので、病室をまわる時には意識するようにしました。

### Q 「ふくろう研修」で学んだことは？

A 夜間は職員の人数が減るため、患者さんは看護師に声をかけるのを遠慮して、トイレを我慢したり、少し気分が悪くなっても辛抱されることがあります。先輩方はこうした患者さんの気持ちを汲んで、「気にせず何でも言ってくださいね」とやさしく声をかけていたので、お手本にしました。また、研修を受けたことで新たな疑問も出てきて、先輩方にアドバイスをいただいたことで、落ち着いて夜勤に臨めました。



## ～「看護のやりがい」と「就活時とのギャップ」～

3階東病棟 2023年入職 N・Hさん 京都橘大学卒業



### 多重課題への対応に奮闘中

当院の明るい雰囲気や患者さんへの対応、多職種の方々と積極的に連携する関係性に惹かれて入職を希望しました。その時の印象は、今も変わっていません。予想外だったのは、多重課題への対応です。実習よりも受け持つ患者さんが増えたことで、限られた時間のなかで適切な看護を展開するのは考えていた以上にむずかしいです。今は先輩方にアドバイスをいただきながら、日々学んでいます。

### 患者さんが回復する過程に寄り添う

看護実習で整形外科を経験し、患者さんが回復される過程を支えることに興味をもちました。希望が叶い、現在は整形外科と消化器内科の混合病棟に勤務しています。手術を受ける方が多いので、細やかな観察と不安を和らげる関わりを心がけています。看護のやりがいを感じるのは、やはり患者さんから「ありがとう」と言葉をかけていただいた時です。



## ～入職時から先輩看護師がしっかりサポート～

3階西病棟 2022年入職 S・Mさん 奈良学園大学卒業



### 新人だからこそ感じる不安をサポート

私が勤務する病棟の新人教育では、経験豊富な先輩看護師がメインの指導役について、チーム全体で新人看護師を支える体制をとっています。一貫性があり、一人ひとりの状況に応じた指導を行えることに加えて、新人看護師がチームのさまざまな先輩に質問や相談ができることが、この体制の特長です。そうしたなかで私は、気軽に話せる年齢の近い先輩として、新人だからこそ感じる不安を少しでも和らげるサポートを心がけています。

### 声をかけ合って風通しの良い関係に

どんなに体制が充実していても、新人看護師はまわりに相談しにくいケースがあるので、朝に顔を合わせた時に「おはよう！ 何か変わったことはない？」とこちらから声をかけて、話しやすい雰囲気をつくるようにしています。入職間もない頃は不安そうだった新人さんが、今はしっかりと自分の考えを伝えられるようになってきて、私も嬉しく感じています。



### ふくろう研修(患者体験研修(1泊入院体験))

入院患者として1晩泊まり、患者体験を通して夜間の病院の実際を知る研修です。患者を取り巻く環境を知り、看護するうえで配慮のあり方も学びます。

